

このままで大丈夫なのか？

日本の食事情！

子供が真っ先に反応している？
アレルギー、発達障害、ADHD、自閉症・・・

現在、学校で起きていること

先生が1クラスに2人？

少子化で1クラスの人数が減っているのに
なぜ先生が2人必要なのか？

じっとしてられない子供達
座ってられない子
ふらふらとどこかへ行ってしまう子

子供を席に座らせるために
席に戻すために大人の手が必要になる
授業を行う先生
子供を席に座らせる先生の2人必要な異常な状態

学級崩壊が起きているなんて話もあったり

まさか・・・そんなことが教室の中で起きているとは
特別な地域の特別な話じゃないの？

しかし、
電車の中ではこんな話をする
お母さん達が

「今度の授業参観に観に行きたくないんだよね、憂鬱だな～
じっとしてられない子供を見るのが辛くて嫌で・・・」
子供が授業中、子供がじっとしてられないこと
それを目にするのが嫌

しつけが悪いとか言われるのでは？
何も悪いことしてないのに・・・
ちゃんと育てているのに・・・
落ち着きのない子になってしまった

原因が全く分からない・・・私が悪いのかな？
ずっとこの子このままなのかしら
不安を抱えるお母さん

それに反するかのように増える
異常な行動をする子供たち

すぐにキしてしまう子
人とのコミュニケーションがスムーズにいかない子

わがままに育てたワケでもないのに
かんしゃくを起こし手におえない子

今、様々な問題を抱えた子供たちがいます

お母さんが悪いのか？
家庭環境がそうさせるのか？
社会が悪いのか？

何か原因があるのでは・・・

昔から大きく変わったことと言えば

食事情・・・

ここ50年ほどで産業の発展と
共に大きく変化してきた食の世界
ここに、近年の子供たちに起きている
異常な変化のヒントがあるのでは？

何十年も常識となっていたことが
常識ではなくなってきたのかもしれない

食の安全を確保するため
食事を安定して供給するために始まった給食

その給食、現代の子供にちゃんと機能しているのだろうか？

驚くことにアレルギーのトップ3に入る食品が
毎日の食事
給食で出され続けているという事実

アレルギーを引き起こすと分かっているものが
未だに給食で提供されていることを見て
なんだかおかしいと思いませんか？

この食事に注目し
食事の与え方や指導が間違っているのでは？

給食で出される食品に疑問を持ち
小麦、牛乳を給食で出すことをやめた学校では

子供たちが落ち着きをみせ始めたとか^{※1}
すぐにキレたり、暴れてどうしようもなかった子がおとなしくなったとか

食を改善することで
子供に変化が出始めたと・・・

この話、子供だけに当てはまるものではなく
大人にも当てはまりそうですね

アレルギー、肥満、糖尿病、がん、うつ、痴呆・・・
増え続けている疾患の原因もまた食からではないでしょうか
増え始めたのはここ20年くらいの間ではないですか？

食が原因かもしれないと聞いて
あなたはどう感じますか？

心当たりがありますか？

それとも
まだピンピンしていて困ったことがないから
他人事でしょうか？
どこか遠い世界の話のように感じますか？

今、健康であるなら 食生活の改善は必要ないのか？

そんな余裕をかましている場合ではないことが
まだまだこの国にはあります

食料自給率の話^{※2}

先進国なのに、食に関しては低い水準の日本

食料自給率 39%

輸入食材に頼らなくては生きていけない国

もしこの場で食品の輸入が全てストップしたら
2人に1人は食べるものがないってことになる数字です

他の国はどうでしょう？

先進国、アメリカ 127%
カナダ 258%
ドイツ 97%
フランス 129%
イタリア 61%
イギリス 72%

先進7か国中、50%を下回るのは日本だけです
(2011年度のデータ農林水産省HPより)

農業が衰退し、環境の悪化
国内で取れる食物は
痩せた農地で作られるため栄養不足
食べても栄養価が取れない

それに加え

食の大きな転換期となった**遺伝子組換え作物の登場**

遺伝子組み換え作物とは

遺伝子組換え作物は、商業的に栽培されている植物（作物）に遺伝子操作を行い、新たな遺伝子を導入し発現させたり、内在性の遺伝子の発現を促進・抑制したりすることにより、新たな形質が付与された作物である。食用の遺伝子組換え作物では、**除草剤耐性**、**病害虫耐性**、貯蔵性増大、などの生産者や流通業者にとっての利点を重視した遺伝子組換え作物の開発が先行し、こうして生み出された食品を第一世代遺伝子組換え食品とよぶ。これに対し、食物の成分を改変することによって栄養価を高めたり、有害物質を減少させたり、医薬品として利用できたりするなど、消費者にとっての直接的な利益を重視した遺伝子組換え作物の開発も近年活発となり、こうして生み出された食品を第二世代組換え食品という。

1973 年以降の遺伝子組換えの手法として、**放射線照射**・**重イオン粒子線照射**・**変異原性薬品**などの処理で杯の染色体に変異を導入した母本を多数作成し、そこから有用な形質を持つ個体を選抜する作業を重ねるという手順で行われた。（ウィキペディアより抜粋）

遺伝子組み換え食品の怖さ・・・

上記の説明分の**太字**を見ていただいただけでも、不自然なことが行われていることは一目瞭然なのですが

私たちは、遺伝子組み換えという言葉に麻痺しています

なぜなら、今ではよく耳にする言葉になっており
パッケージの裏を見れば
遺伝子組み換えでない原料を使っていますと書かれているし
気にすることないなって感じるからです。

表示を見てそれを信じ安心してしまい
生活に入り込んでいる感覚が薄くなっていて危機感を持っていません。

世界で膨大に生産されているのに
私たちが口にする食品に
本当に使われていないのでしょうか？

食料自給率の低いこの国でそれを使わずに行けるとおもいますか？

実は表示には抜け道がある

どのような法律にもグレーゾーンというものがあります、抜け道です。
そこをうまく利用して食品の表示ではされていないものが多いようです。

その1 遺伝子組換え DNA、及びそれによって生成したタンパク質が残らないものは、
表示義務なし 醤油、油、添加物など

その2 主な原材料（使用量が多い上位3番目以内で原材料が占める割合が5%以上）以外
には表示義務なし

その3 5%以下の意図せぬ混入には義務がない

その他

- 添加物には遺伝子組み換え作物の表示義務なし
- 市販の揚げ物 安価な遺伝子組換え作物を使用している可能性があるが
表示義務はなし
- 遺伝子組換え作物使用のコーンシロップ、ブドウ糖なども添加物のため
表示義務なし
スポーツドリンク、ソフトドリンクは大丈夫なのか？？
- 家畜の餌は、遺伝子組換えである可能性が高い

ほとんどが表示義務なしのルールで守られちゃっているのでは？

消費者を守るための表示だと思っていたのに
これでは企業側に有利に働くばかり・・・

これでは遺伝子組換え作物、どこに隠れているかわかりませんね。 ※3

この遺伝子組換え作物、先ほどの説明にあったようにある特定の農薬がや肥料がしっかり働けるように作られた種を使いますので農薬や肥料とセットで使うことが条件になっています。自然の土壌では自力で育つことができない種なのです。ここだけ見ても不自然なものになっています。

農薬を使うために作られた種と言い換えてもいいかもしれません。



遺伝子組換え作物への農薬散布
(アルゼンチン)

その農薬の1つにあのベトナム戦争で使われた枯れ葉剤があるという情報を目にしました。

ベトナム戦争で使われた枯れ葉剤（2、4-D）やジカンバという危険な化学物質にも耐性のある遺伝子組み換えが開発され、その栽培が日本、アメリカ、ブラジルで現在では承認されています。 ※4

あの枯れ葉剤が起こした、その後の悲劇、ご存知ですよ。
この農薬をふんだんに浴びた遺伝子組み換え作物
食べても大丈夫って思えますか？

遺伝子組換え作物がこの世に出始めてから
病気の発現率が上がっています
これをただの偶然と呼んでいいのか？

どのような変化が起きたかデータを見てみましょう

遺伝子組換え作物が世に出始めたのが1996年ごろです
出始めの頃の疾患者数とその後の数値を見てください

疾患者数の推移_{※5}（遺伝子組み換え作物導入前1996年、導入後2004年）

炎症性腸疾患

1996年 460万人
2004年 620万人 → 約1.35倍

慢性便秘

1996年 400万人
2004年 1600万人 → 4倍

胃腸感染症

1996年 1000万人
2004年 1500万人 → 1.5倍

糖尿病患者

1996年 600万人
2004年 1800万人 → 3倍

これはアメリカでの疾患者の推移のデータですが
遺伝子組み換え作物と関係がないと言える数字とは思えないですね

ここにはない疾患もきっと同じように数字が大きくなっているでしょう
そしてこれはアメリカにとどまる話ではなく

日本でも同じようなことが起きていることは間違いないですね
なんせ食料輸入大国ですから

そこから更に12年経過しています
この数値では収まらないこと想像が付きませんか？

遺伝子組換え作物の代表格は
小麦、大豆、トウモロコシ
これらの食品は食料自給率の低い、日本においては
ほぼ輸入に頼っています

それぞれの自給率^{※6}

小麦・・・10%台

大豆・・・5%

トウモロコシ・・・1%に満たないため0%（95%アメリカから輸入）

国産と書かれたものでさえ種は輸入であったり・・・

ここまでの流れを見ていただいても
「遺伝子組換えではない」と書かれた食品って本当なのか？

食の安全を確保することが大変な日本に生活している私たち
安全大国日本ですが、食に関してはとても危険な国
うかうかしていたら、皆病気になってしまいます
健康だから大丈夫なんて言っていられなくなってきました

もう常識がどうか言っている場合じゃないです
常識がおかしいのですから～

今のままの食生活を続けますか？

それとも

自分の命、そして大切な家族の命を守るために
今できることから始めますか？

もっと詳しく食の危機について
知りたいというあなたへ・・・

特別な情報をお伝えする場をご用意しました

食の危険性についてもっと知り
今できることを身につけてしまいましょう
食事情が良くない日本でも
身を守るためにできることは沢山あります！

- ・ 日本の食事情に不安を覚える
- ・ 何から手をつけたらいいのかわからない
- ・ 今の食事方法で本当にいいのか？
- ・ 原因はわからないがカラダに不調を感じる
- ・ 将来の健康に不安がある
- ・ 子供達の健康、未来を良くしたい
- ・ 情報がありすぎて何を信じたらいいのか・・・
- ・ 家族や親戚に病気を抱えている人が多い

不安や疑問を抱えたまま、日々の生活を送るより、知るべき情報を手に入れて安心して過ごせる毎日を手に入れてください。

『このままでは危険、日本の食事情！』

セミナー内容

- ・ 日本の食が危ない？
- ・ すべての病気は腸で始まる
- ・ もっとも改良された食品の危険性
- ・ ここ50年間で変わった食の安全

- ・ 健康を手に入れるために、見直すこと！
- ・ 未来のために今できることとは？

今、私たちが知らず知らずに抱えている、様々な問題についてお話しします。

日 時 : 8月19日 19時から21時半
場 所 : 東京都新宿区（詳細は申込者にご連絡いたします）
参加費 : ￥5,000

東京でお会いしましょう

東 倫衣（ひがし ともえ）

※お申し込みはこちらから↓↓↓↓↓

危険から身を守る方法を手に入れる！

<プライバシーポリシー>

<特定商取引法>

記載データ出典元

- ※ 1 子供の病気は食事で治す 内山葉子著 評言社
- ※ 2 2011年度のデータ農林水産省 HP
- ※ 3 IN YOU Journal for Macrobiotique HP
- ※ 4 IN YOU Journal for Macrobiotique HP
- ※ 5 GMOs Increasing in U.S. Diet
- ※ 6 社会実情データ図録（農林水産省 食料需給表を元に作成された資料）